

医療DXの推進を目指し、株式会社松尾研究所と AI技術の共同開発を行います。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



健育会グループのヘルスケアシステムズは、人工知能研究の第一人者・松尾豊氏が顧問を務める松尾研究所とタッグを組み、医療分野におけるAI導入への取り組みを開始しました。

この度、ヘルスケアシステムズは、東京大学大学院工学系研究科の松尾豊教授が顧問を務める「松尾研究所」とタッグを組み、医療分野におけるAI技術の導入について、新たな取り組みを始めることとなりました。松尾氏は、Deep Learningに関する基礎技術の開発を行う、人工知能研究の第一人者であります。

今後、日本は少子高齢化が加速し、働き手が減っていくことが予測される中、医療介護の分野ではいかに質を落とさずに省力化していくかということが大きな課題となっています。すでに政府は医療DX推進本部の設置を行なっているほか、厚生労働省でも介護分野におけるDXやロボットの活用に関して、この度の介護報酬改定にあたり、人員配置基準の緩和や報酬の加算を行うと公表しています。



医療介護分野におけるAI導入については様々な可能性が考えられますが、ヘルスケアシステムズとしては、健育会グループの基幹病院である湘南慶育病院を中心に松尾研究所によるリサーチを実施し、ディスカッションを交えながら共同で技術開発を行なっていきたいと考えています。

また、健育会グループのすべての病院施設では来年度中にスマートフォンの導入をしたいと考えています。

今回の取り組みで生まれたAI技術は、将来的に医療介護業界でも広く共有され、日本における課題解決の一助となることを目指しています。

松尾研究所

産学共創によるイノベーションのスパイラルを実現する

松尾研究所は、東京大学大学院工学系研究科松尾研究室とビジョンを共有し、大学・企業・スタートアップによる産学共創のエコシステムを実現することを目指し誕生しました。

アカデミアで生み出された先端技術を産業界に繋げ、社会実装を通じ得られた知見をまたアカデミアに還元することで、次の時代の礎となる人材・先端技術を育成する、イノベーションのスパイラルを創出します。深層学習領域の応用研究と社会実装、産業界におけるAI・DX人材の育成、企業のDX推進に資するスタートアップの育成等に取り組んでいます。